

# 新年のごあいさつ

広野町議会 議長 黒田 政徳



平成三十年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。町民の皆様には、輝かしい新春を迎えられたこと心よりお慶び申し上げます。

太平洋沿岸に巨大な津波を引き起こし、福島第一原子力発電所に致命的な損傷を与え、未だ多くの人々に不自由な生活を余儀なくした大地震からまもなく七年が経過しようとしております。

昨年を振り返りますと様々な復興事業が完工し、そして新たな事業への着手も相次ぎ、着実な復興への歩みが形として目に見えるようになり、本町の復興・再生がまた一歩進展した一年でありました。

三月には、応急仮設住宅等の供与期間が終了し、約八割の町民が帰町されました。

しかし、様々な事情により約二割の皆さんが引き続き避難生活を継続することを選択することとなりましたが、まだまだ本来の生活に戻るには時間が必要かもしれません。

町議会といたしましては、「広野に戻って良かった」「やっぱりここに住んで良かった」と実感できる施策の実現に向け、行政と共にふるさとの復興と再生に総力を結集して取り組んで参ります。

課題は、数多くありますが、皆様の力強いご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、皆様にとりまして、本年が幸多き一年となり、さらなる飛躍の年となりますよう、ご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

## 12月定例会

平成29年第4回議会定例会を12月14日から15日までの2日間の会期で開きました。

今回は平成29年11月19日に執行された町長選挙後、初の議会開催となり、遠藤 智町長が所信表明と経過報告を述べ、一般会計・特別会計補正予算を含む全12議案が提出され、慎重審議のうえ全て原案のとおり可決しました。

また、一般質問では6人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問い質しました。